

# 婦人科相談 Q&A



## 1 月経不順です。病院に行くべき？

まず妊娠の可能性があればチェックが必要です。妊娠でない場合では、ちょっとしたストレスで月経が1ヶ月とぶこともあるでしょう。ただし月経が3ヶ月以上ない場合は無月経と呼び注意が必要です。産婦人科を受診してください。また、月経が10日以上続く場合も相談しましょう。

## 2 月経痛が起こることは普通？

月経時には腰痛、下腹部痛などの月経痛を伴う場合があります。

月経痛が重く、起きているのが辛かったり、学校を休むなど生活に支障を来す場合は月経困難症といえます。子宮筋腫や内膜症などが原因の場合もあるので、一度産婦人科に相談しましょう。原因疾患がない場合も痛み止めや低用量ピルで治療できます。

## 3 20歳です。出血などの症状はないですが、子宮頸がん検診を受けないといけないですか？

子宮頸がんの早期はほぼ無症状のため、検診が大切です。がんが進行するにつれ不正出血（出血、ピンク、茶色のおりもの）が増えますが症状のない人もいます。不正出血があった場合は早めに産婦人科を受診して下さい。性行為を持つようになったら定期的に子宮がん検診を受けましょう！子宮頸がん検診では前がん状態もわかり早期治療につながります。

最近20代の子宮頸がんが増えています。年に約1万6000人がかかり、20～30代の女性の癌の1位です。20歳だからまだ早いなんてことは全くありません。将来妊娠を考えるかもしれません。必ず受けましょう！



## 4 避妊は毎回必要ですか？

はい、毎回必要です。性感染症予防にコンドームは必ず！妊娠しやすい時期（排卵日頃）は毎回人によっても違います。精子は1週間も生きることができるので安全日は予想できません。

## 5 避妊はどうするの？

主に**コンドーム**、**経口避妊薬（ピル）**が使われています。膈外射精は避妊ではありません。射精前にも精液は出ています。ピルは最も避妊率が高いです。ただしピルを内服中の人も性感染症予防のため**コンドーム**が必要です。**コンドームは必ず最初から毎回つけましょう！**

各種避妊法使用開始1年間の失敗率  
(100人の女性が1年間に妊娠する率)

方法	理想的な使用 (%)	一般的な使用 (%)
経口避妊薬	0.3	6
殺精子剤のみ	18	29
コンドーム	2	15
リズム法(オギノ式など)	1~9	25
避妊せず	85	85

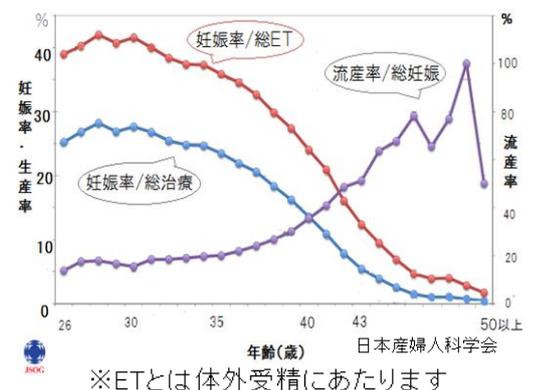
## 6 避妊に失敗したときは？

性交後できるだけ早く（**72 時間以内**）産婦人科へ行きましょう！**緊急避妊（モーニングアフターピル）**で約**80%**の避妊率です。これは、緊急時の避妊のため、次回からの避妊方法について相談していきましょう。

## 7 妊娠しやすい年齢は？

女性は10～16歳頃に初経を迎え、6～7年かけて排卵サイクルが整います。30才頃に妊娠率はピークを迎え、35歳以降徐々に低下し、40歳では30歳の1/2の妊娠率になります。45～55歳（平均50歳）で閉経を迎えます。20代後半～30代では子宮筋腫や子宮内膜症、子宮がんも増加し妊娠にも影響があります。20代から産婦人科のホームドクターを持ち、気軽に相談しましょう。

ART妊娠率・生産率・流産率 2012



## 8 性感染症とは？

主に性行為によって感染する疾患で、オーラルセックスでも感染します。クラミジア、淋菌、HIV(エイズウイルス)、梅毒、性器ヘルペス、尖型コンジロームなどがあります。

## 9 岡山で梅毒が増えているの？

日本国内で梅毒が急増していますが、岡山県は特に急増しています。2019は人口100万人あたりの報告数は東京都・大阪府に次いで全国第3位でした。女性では20代が45%を占め最も多く、感染経路はパートナーからが59%です。HIV（エイズウイルス）感染も横ばい状態です。

岡山県 年次別 梅毒発生状況(2010年～2019年)



## 10 性感染症を防ぐには？

---

①コンドームを性交時（オーラルセックスを含む）毎回正しく使いましょう。HIV、クラミジア、淋菌はコンドームでほぼ予防できます。性器ヘルペス、尖型コンジローマ、梅毒はコンドーム使用で完全には

予防できませんがリスクは下げることができます。

②パートナーを限定しましょう。複数のパートナーは感染リスクが UP します！

## 11 性感染症の症状は？

---

梅毒は3割、クラミジアは8割、HIVはエイズ発症まで無症状です。

**梅毒**は感染後3週間くらいで外陰部に潰瘍やブツブツが出ますが、痛くないので気がつきにくいです。その後、症状はいつか消失して数ヶ月後に体、手足に皮膚症状が出ます。これも消失し、やがて神経や心血管を障害します。

**クラミジア、淋菌**はおりものがやや増加し、時に腹痛（激痛なことも）をもたらします。無症状が多く知らぬ間にお腹や卵管に感染が進行し不妊症の原因になることもあります。

**性器ヘルペス**は痛みを伴う潰瘍で、時に発熱します。

**尖圭コンジローマ**は外陰部にブツブツが起こります。

## 12 無症状の場合はどうすればよい？

---

コンドームなしでセックスをしたら必ず検査を受けましょう！ただし、コンドームで完全には防げない性感染症もあります。自分の体の変化に気をつけて、気になるときは早めの検査が第1です。

※感染してから検査が陽性になるまで、一定期間かかります。注意してください。

## 13 性感染症検査はどこで受けられますか？

---

○産婦人科・皮膚科・泌尿器科

症状あれば保険診療でも検査可。非匿名。

○岡山市保健所 性感染症・エイズホットライン

無料で HIV、クラミジア、淋菌、梅毒検査が可能で結果は1週間後。匿名。

要予約：086-803-1269（予約、相談：月～金 9:00～12:00、検査は月・水のみ）

○県内エイズ拠点病院

1000円即日結果、非匿名、要予約（岡山県HP参照）